

町民の皆さまからのご意見を募集しています！

第2回 広聴募集テーマ

「信州・御代田龍神まつり」について

募集期間：7月28日(月)～8月31日(日)まで



これまでに寄せられたご意見



屋台に並んでいるお客さんの列が長く、歩道までできていて、歩行者が通れず大変だった。警備員をつけてほしい。

駅前的大型モニターの位置が去年と変わっていた。
去年の方が見やすかったので戻してほしい。



クイズ大会は円形広場ではなく、駅前でもできるのでは？円形広場では、もっと有志発表を募ってはどうか。

円形広場の夜の席の平らな所は、前売りの有料席にして良い気がした。



保育園・幼稚園児の演技は、暑い真昼ではなく、朝や夕方にするべき。



暑さ対策をもっとするべき。

まつりに欠かせない龍の舞であるのに、龍の舞保存会への支援が少なすぎる。



謎解きのクイズとっても楽しかったです。

観覧席を入れ替え制にしているが、途中から入ってきて座る人が沢山いた。ルール作りは守られるルールでないとダメではないかと思う。



※一部を抜粋、要約して掲載しています。

ご意見をまだまだ募集しています！

下記いずれかの方法でご意見をお寄せください。

- 二次元コード、または下記URLを検索してLoGoフォームにて回答してください。
<https://logoform.jp/f/qKPAf>
- 意見等記入用紙を直接政策推進課の窓口にお持ちいただくか、もしくは郵送にてご提出ください。様式は町のホームページにあります。

お寄せいただいたご意見は募集期間終了後、町のホームページ等で公開いたします。



LoGoフォーム



町ホームページ

今後の予定

● 政策テーマに合わせた意見交換会

テーマを決めて、区や企業、また各種団体などと意見交換会を実施していく予定です。テーマに対しての現状や課題などの意見を、町長と町職員が直接伺います。

● 広報やまゆり10月号

第3回広聴テーマは、「猛暑対策」を予定しています。



問い合わせ先 政策推進課(32)3111

>> Vol.46 町長コラム

このコーナーでは毎号、小園町長が町民の皆さんに届けたいメッセージを綴ります。

龍と太鼓、どちらが主役か



闇に浮かび上がる甲賀三郎。真下に連なる舞い手は、長い長い稽古に裏打ちされた体力を見せつけるように、ピタリと足を揃えて珠を追いかける。太鼓は、龍の動きに合わせるようにそして時折龍の動きを煽るように緩急を自在に使い分け、龍の舞と主役の座をめぐりせめぎ合う…。

信州御代田龍神まつりは昨年、第50回の節目を迎え、開催方法を根本的に変えました。これまで円形広場で夜1回だった演舞を夕方と夜の2回制にし、かつ客席を完全入れ替え制としました。席のある飲食スペースは駅前ロータリーに設け、その場からは大型ビジョンで演舞の様子を観ることが出来ます。

すべては来場者の安全のためです。2年前の第49回の際、龍神の杜駐車場から円形広場側に出る狭い通路が混雑し、佐久警察署から「将棋倒しが起きかねない」と対応の検討を要請され、議論を重ねた結果として現行の開催方法に変更しました。第50回には「入れ替え制なんて許せない」とかなりの剣幕でお叱りを受ける場面もありました。今回は、夜の入場のために並んでいた皆さんにご挨拶をしていると、今年はグッと理解が深まり、運用が安定した実感がありました。ご協力、本当にありがとうございます。

6月の大阪・関西万博はあくまで練習、龍神まつりこそが本番だ…龍の舞保存会の皆さんからは繰り返しこの言葉を聞きました。万博という「最高の稽古」を経て、動きにはこれまでにない迫力が加わっていました。鼓響の太鼓は、よそに出かけて他団体と比べるたびに、「今日もまた鼓響が最強だった」と痛感させられます。万博でもまたしかり、そしてまつり当日も鼓響にしかない魅力を披露してくれました。一度でも太鼓のない龍の舞を想像していただければ、どちらが主、どちらが従、という発想自体浮かばなくなると思います。

私には一つ、大きな心配事が加わりました。これだけの舞と太鼓を披露して、来年はこれを超えられるのか、という思いです。そんなことを言っていたら若い舞い手が「町長、今年なんて軽々と上回ってやりますよ!」と言ってくれました。

御代田町

「地域おこし協力隊」だより



6月に着任した今野より、改めて自己紹介と活動のご報告をさせていただきます。

私は茨城県出身で、学生時代はハンドボールに打ち込み、将来は競技の道に進むことを目指していましたが、怪我により断念。その後は新たな進路として語学に興味を持ち、カナダ・バンクーバーで1年間学びました。

帰国後は、英語を活かして群馬県の「くらぶち英語村」で山村留学指導員として勤務。自然の中で子どもたちと生活を共にし、地域の暮らしや教育の現場に深く関わる貴重な経験を積み

ました。そうした自然豊かな環境での暮らしを通して登山に興味を持つようになり、山で出会う景色の美しさを多くの人に伝えたいという思いから、映像制作を始めました。

御代田町に関心を持ったのも、周辺の山々を訪れる中で、この町の自然の豊かさや落ち着いた暮らしに惹かれたことがきっかけです。現在は町の魅力をより多くの人に伝えたいという思いで、地域おこし協力隊として活動しています。

活動としては、大阪・関西万博で披露された「龍の舞」のPR動画を制作し、東京・銀座NAGANOでの御代田町PRイベントでその映像を放映、当日の様子も記録しました。また龍神まつりの撮影も行いました。その他では移住イベントのサポート、Instagramでの情報発信などを行っています。

まだ町の方々と関われる機会は少ないですが、地域の皆さんとのつながりを大切にしながら、御代田町の伝統や自然、暮らしを映像というかたちで発信していきたいと考えています。

情報発信していくので、ぜひフォローしてください！



地域おこし協力隊
Instagram



登山で撮影した蛇骨岳から見る浅間山